

まちのトピックス

令和3年 令和4年
12月 ~ 2月

半田中学校の生徒×姉妹都市ミッドランド市(アメリカ)との
オンライン交流会



半田市が、ミッドランド市と姉妹都市提携を結び、2021年に40周年を迎えました。40周年を記念し、海外への興味・関心を持つきっかけとして、半田中学校の生徒と以前交換学生として来半したミッドランド市在住のミオさんがオンライン交流会を行いました。

市内中学校での初の試みであるオンライン国際交流は、年末の2日間で1・2年生25人が参加し、ゲームや音楽を通じて、積極的にミオさんと英語でコミュニケーションを図りました。

半田市×市内事業者×半田商業高校の生徒
「まちを明るくしよう!」をテーマに授業

1月25日(火)に半田商業高校の生徒と市職員、市内事業者が一緒になり、「まちを自分たちの手で明るくしよう!!」をテーマに授業が行われました。

授業では、5グループに分かれ、まちを明るくするにはどうしたらいいのかを話し合いました。普段の生活で楽しめる場所を事業者と共に展開することや地域の人とのつながりを大切にする、道路や海の環境整備など、様々な角度から考えられた意見が発表されました。



半田市×民間企業
「スタートアップ」官民“共創”によるモデル事業を目指します



愛知県は「スマートサスティナブルシティ」(*)の実現を目的とした産官学共創型のグローバルプログラムを実施しており、半田市は今年度の当プログラムで唯一の自治体として採択されました。国内外のスタートアップと課題解決に取り組むことで、これまでの既存概念に捉われず、チャレンジ精神をもってイノベーションを創出し、官民共創によるモデル事業の確立を目指します。

半田市が提示した課題に対し、全27社(国内11社、国外16社)から提案があり、11月からその内4社と新たなイノベーションの

創出に向け共にビジネスモデルを創り上げてきました。2月2日には中間報告会を行い、各案件の成果を出すための情報共有を行いました。

※AIやICT等の最先端技術を活用して作る持続可能な社会